

泉南アスベスト国会通信

●大阪・泉南アスベスト国賠訴訟原告団 / 弁護団

政治主導で上告断念と全面解決を！

司法は、三度国を断罪、ボールは政治に投げられた



昨日 (25日) の大阪高裁判決 (2陣訴訟) は、1陣訴訟大阪地裁判決 (平成22年5月)、2陣訴訟大阪地裁判決 (平成24年3月) に続いて、三度、泉南アスベスト被害に対する国の責任を明確に認めました。同時に、「産業発展のためにはいのちや健康が犠牲になってもやむをえない」などとして、原告らの請求をすべて否定した1陣大阪高裁判決を、理論的にも事実認定でも全面的に否定し、1陣大阪高裁判決の不当性、不正義を一層明らかにしました。

2陣大阪高裁判決は、7年半に及ぶ審理の集大成であり、内容的にも説得力があり、この判決で司法判断はほぼ決着しました。

政治解決に向けた原告団・弁護団の要望

- ① 国は、判決を真摯に受け止め、上告断念を！
↓ 司法判断はほぼ決着。これ以上解決を遅らせることは人道上も問題です。
- ② 第1陣・第2陣訴訟の原告全員の一括解決を！
↓ これ以上、解決を見ずに亡くなる原告を増やさないでください！
- ③ 泉南地域 (岸和田管内) の石綿紡織業に従事した被害者の救済
↓ 泉南地域の「地域ぐるみの被害」を救済してください。

